

脆弱性診断サービス シンプル・パックのご案内

みんなでしっかりサイバーセキュリティ

2月1日～3月18日は「サイバーセキュリティ月間」です。

不審なメールによる情報漏えい被害や個人情報の流出など、生活に影響を及ぼすサイバーセキュリティに関する問題が多数報じられています。

誰もが安心してITの恩恵を享受するためには、国民一人ひとりがセキュリティについての関心を高め、これらの問題に対応していく必要があります。

このため、政府では、サイバーセキュリティに関する普及啓発強化のため、2月1日から3月18日までを「サイバーセキュリティ月間」としています。

(出典：内閣サイバーセキュリティセンター)



最近、情報セキュリティ関係のニュースが多いけど、うちのサーバやホームページは大丈夫なのかなあ・・・。

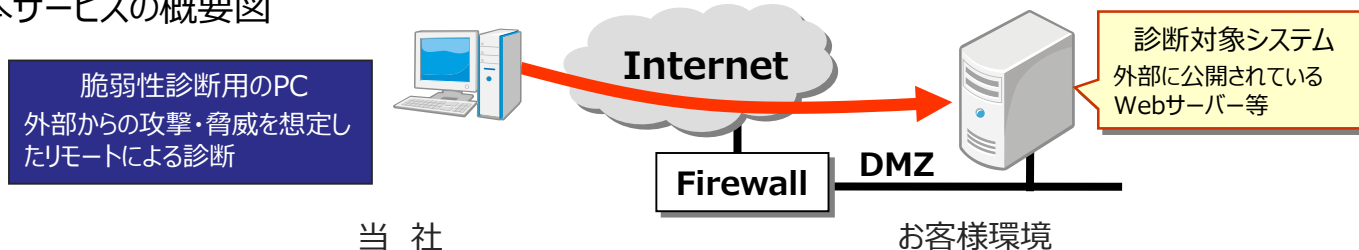
そんな心配やお悩みをお持ちのご担当者様へ、
お試し感覚で実施できる診断サービスを提案いたします。

「サイバーセキュリティ月間」のこのタイミングで一度ご検討してみませんか？

当サービスでは診断対象の機器やホームページに対して、診断ツールを用いて現状の機器設定やWebプログラミングの脆弱性、問題点の有無を確認いたします。



本サービスの概要図



シンプル・パックの内容

リモート診断

- ・ツールによる診断 ※1
- ・対象はインターネット経由診断に限定 ※2

報告書の作成

- ・結果より、脆弱性の有無とレベルの評価
- ・結果より、必要な対策のまとめ

通常の脆弱性診断の内容

事前打合せ

調査・準備

診断の実施

結果の分析

報告書の作成

報告会

診断内容は通常と同じ手法のまま、前後作業や報告書の内容をスリム化※3することで、診断のレベルは変えずに期間・費用をコンパクトにしたサービスです。

脆弱性診断サービス シンプル・パックの内容

- ・診断の対象は、サーバ等の機器診断と、ホームページ上のWebアプリケーションの2つです。今回は、下記の3タイプを用意しています。
- ・外部からのインターネット経由での攻撃に対する各種の脆弱性を診断します。
- ・報告書には、診断の結果を中心に脆弱性の有無、検出された脆弱性の評価（緊急・高中低・参考情報）と想定される脅威（そのままにした場合の被害）などを報告書にまとめます。なお、診断項目は国際基準を基に設定いたします。
- ・診断後は、脆弱性がありました場合は改修等を行う必要があります。報告書の内容を参考にご対応ください。また、今後の参考資料としてもご利用いただけます。

【2020年3月31日までのご発注に適用されます】

各タイプ	Aタイプ Webアプリケーション診断	Bタイプ 機器診断	Cタイプ (A + B) Webアプリケーション診断と 機器診断のセット
診断の 対象数	3画面以内 (動的画面)	3 IP以内	3画面以内 + 3 IP以内
価格 (税抜)	¥400,000	¥400,000	¥750,000
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・動的画面は、「メールアドレスの登録画面」のような、情報を入力する画面のことです。 ・構築されたWebアプリケーションプログラムに対する各種攻撃（クロスサイトスクリプティング等）の対策状況を診断で確認します。 ・事前に診断を希望される画面を選定ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部に公開しているWebサーバなどが対象となります。 ・サーバ機器やネットワーク機器に対する外部からの各種攻撃、脅威の脆弱性を診断で確認します。 ・事前に診断を希望される機器を選定ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・AタイプとBタイプの2つの診断を同時に行うセットです。 ・同時に行うことで、総合的な現状確認ができます。 ・事前に診断を希望される画面及び機器を選定ください。

- ※1 事前に対象となる機器やホームページの情報をご提供いただきます。
 ※2 システムの内部から診断するオンサイトの手法は今回含んでいません。
 ※3 あくまで当社の通常業務対応との比較となります。
 中央省庁、地方公共団体、民間企業にて、幅広い診断実績があります。
 その他、対象数の変更、追加等につきましては、別途ご相談ください。

